

#GifuCanada ホストタウン交流 Project

東京オリンピック・パラリンピックレガシー

2025年度

岐阜県とカナダとのホストタウン交流に係る

学校連携事業

実績報告書



岐阜県 地域スポーツ課

目 次

【小学校】

- ・ 岐阜市立長良西小学校 1
- ・ 岐阜市立長良東小学校 7
- ・ 岐阜市立三里小学校 11
- ・ 関市立旭ヶ丘小学校 13
- ・ 中津川市立山口小学校 21
- ・ 下呂市立下呂小学校 25
- ・ 多治見市立笠原小学校 29
- ・ 羽島市立正木小学校 33

【中学校】

- ・ 岐阜市立三輪中学校 37
- ・ 岐阜市立精華中学校 45

【高等学校】

- ・ 岐阜県立岐阜商業高等学校 53

岐阜市立長良西小学校 実績報告書

学校名	岐阜市立長良西小学校			
所在地	岐阜市千代田町2丁目1番地			
学校規模	全校生徒数	618	クラス数	23
本事業への参加者	6年・100人 4年・110人			
実施概要	月	概要		
	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダ人陸上選手との交流会に向けて（6年生） ・カナダ人陸上選手との交流会（6年生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの交流活動を振り返り、今年度の活動について、見通しをもった。 ・「ぎふ清流ハーフマラソン」に出場予定だったカナダ人陸上選手に来ていただき、日本の文化を紹介し、一緒に体験活動を行った。 	
	5月 6月	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間「共生」（6年生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「共生」について、テーマ別に探究的な学習を行った。 ・校区内でコートジボワールとの交流活動を続けている（靴を届け続けている）人の話を聞いた。 	
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダ陸上チーム応援動画撮影（6年生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダ国歌を歌ったり英語で話したりして、世界陸上カナダチームへの応援メッセージを届けた。 	
	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの期間を生かして、学校で学習した外国やスポーツなどについて、さらに広げたり深めたりしたいことなど、探究的な学習を行った。 	
	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・世界陸上カナダチーム記者体験（希望者）事前合宿見学（6年生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京2025年世界陸上カナダチームの事前合宿の見学を行った。練習の様子を見たり応援を行ったりした。 	
	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間「共生」（6年生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが幸せな社会について岐阜市に住むコートジボワールの人を交えて学習を行った。 	
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピアン選手との交流会に向けて（4年生） ・自主学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・「I'm Possible」での学習。ゴールボール選手との交流会を目的に、パラスポーツなどについて学習した。 	

	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピアン選手との交流会 (3～6年生) ・ゴールボール体験会 (4年生) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールボール日本代表選手と、岐阜県出身の強化指定選手の2名を招き、講演会を行った。 ・2名の選手と4年生がゴールボールの体験会を行った。
	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間「共生」(6年生) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本在住カナダ人の先生から、カナダの国、文化、自然、食などについて学ぶ。 ・今年度学んだことをまとめ、地域(保護者)、全校に発信した。

実施内容詳細

<カナダ人陸上選手との交流>

開催日時	令和8年4月28日(月) 13時50分～14時35分(45分)
会場	体育館
参加者	6年 100人
ねらい・目的	カナダ人陸上選手に日本の伝統的な文化を伝えたり一緒に体験したりする活動を通して、互いの国のことを理解し合いたいなどこれからの学習への意欲を高めることができる。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・マリンディ・エルモア選手(息子)との交流会 ・日本の祭りの紹介・体験 「南中ソーラン」披露 ・エルモア選手へのインタビュー ・羽子板のプレゼント
実施の様子	 <p>「道三祭り・神輿パレードを体験する様子」</p>



「羽子板をプレゼントし、体験する様子」

児童・生徒の反応

交流会前は、初めて関わる人。さらに外国の人ということもあり、言葉が伝わるかなど不安や緊張も見られた。しかし、「日本の祭」を再現する活動を通して、一緒に盛り上がり、自然と打ち解けていった。交流後は、「英語が伝わって嬉しかった。もっと英語で会話してみたい。」「カナダや世界の国々について、もっと知りたくなった。」「エルモア選手や他のカナダ人選手が活躍するところを見てみたいし、応援したい。」などと感じる子供が多くみられた。

取組み結果

交流することを楽しみに感じながら様々な企画を考え、実行することで、外国の人とつながる楽しさを感じることができた。また、これからの意欲にもつながった。

<カナダ陸上チーム 事前合宿 記者体験・練習見学>

開催日時	令和7年9月7日（日）・9月9日（火）
会場	岐阜メモリアルセンター
参加者	記者体験・希望者9名 見学・6年 100人
活動内容	<p>【記者体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習会。 <p>選手インタビュー当日、練習見学後に4グループに分かれて、選手へのインタビュー。</p> <p>【練習見学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応援ポスターをもって、練習見学。 ・練習見学の際には、選手に対し、カナダ国歌を披露するなど、競技場スタンドから選手との交流。
実施の様子	 
児童・生徒の反応	<p>世界大会に出るアスリートの練習風景を間近に見学することができた子供たちは、大喜びだった。また、自分たちの応援が届いていると実感し、「世界陸上を見てみよう。」「日本とカナダの両方応援しよう。」「あの選手は、いつ出場するのかな。」など、「世界陸上」や「カナダ陸上チーム」のことが、自分事になっていた。</p>
取組み結果	<p>アスリートを見て憧れを抱くだけでなく、自分たちが応援してきた選手と直接出会い関わることで、さらに相手意識が高まる機会となった。また、子供たちが取り組んできたことが認められる（価値付けられる）場となった。</p>

<ゴールボール選手との交流会・体験活動>

開催日時	令和7年1月23日（木） 9時30分～12時15分(交流会45分 体験90分)
会場	体育館
参加者	3～6年・430人 4年・110人
ねらい・目的	日本代表選手と岐阜県出身強化指定選手の2名の講話を聴いたり、ゴールボール体験活動を行ったりすることを通して、自分の夢や将来について考えることができる。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2名の選手と、3～6年生で交流会 ・田口侑治選手（現日本代表、パリパラリンピック金メダリスト）、永野陽希選手（岐阜県出身、日本代表強化指定選手）の講話 ・インタビュー ・ゴールボール体験活動（4年生） ・感想交流、お礼
実施の様子	  <p>「選手との交流会の様子」</p>   <p>「ゴールボール体験の様子」「選手へのプレゼント色紙」</p>

児童・生徒の反応	<p>交流会では、「今年も田口選手が来てくれて嬉しかった。」「岐阜県出身ですごい選手がいることが嬉しい。」「来年のアジア大会でも頑張ってもらいたい。」と感じていた。</p> <p>また、ゴールボール体験をして、「ボールが重たくてびっくりした。」「鈴の音だけでボールの位置を感じることはとても難しい。」「選手はすごい。」という実感があつた。</p>
取組み結果	<p>夢に向かって頑張りを続ける2名の選手の思いを聞き、自分の生き方を考えるきっかけになった。また、事前・当日・事後、子供たちがパラスポーツについて学ぶ時間を設けたことで、パラスポーツに関心を深め、理解を育むことができた。</p>

<カナダ人講師によるカナダ学習>

開催日時	令和8年2月24日 10時35分～11時20分（45分）
会場	ワークスペース
参加者	6年 100人
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・東海学園大学教授 アンドリュー・デュアー先生 ・カナダの紹介（国の概要、文化、自然、食 など） ・「折り紙」について 体験 ・感想交流、インタビュー、お礼
実施の様子	 <p>「カナダのことやデュアー教授の研究『折り紙』について話を聞く様子」</p>
児童・生徒の反応	<p>多数の写真などの資料を見て、興味深く話を聞いたり驚いたりしていた。日本と比較して聞くことで、カナダの特色や人々の暮らしを深く理解することができた。</p>
取組み結果	<p>社会科「日本とつながりの深い国々」や英語科の学習と関連付けて考え、カナダや外国の文化などへの理解と興味・関心を深めることができた。</p>

岐阜市立長良東学校 実績報告書

学校名	岐阜市立長良東学校			
所在地	岐阜市長良真生町3丁目9番地			
学校規模	全校生徒数	670人	クラス数	25クラス
本事業への参加者	1～6年・670人			
実施概要	月	概 要		
	5月	This is me!での学習	・世界の人大切なものやその理由について考える（6年生）	
	6月	カナダを知る会	・東海学院大学教授：アンドリュー・デュアー氏によるカナダ講話	
	7月	・応援メッセージ動画への参加 ・応援フラッグの作成	・カナダ陸上チームに向けての応援メッセージの撮影 ・カナダ陸上チームへの応援フラッグ作成	
	8月	子ども記者クラブへの参加	・新聞記者体験/カナダ選手にインタビュー	
	9月			
	10月			
	11月	パラリンピアン講演会及び競技体験	・ロンドンパラリンピック金メダリスト：中嶋茜選手による講話及び競技体験	

<カナダ人講師 アンドリュー・デュアー氏によるカナダ学習>

開催日時	令和7年6月13日 9時20分～10時00分（40分）
会場	本校
参加者	6年生 105名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 【岐阜県】 ・岐阜県とカナダとのホストタウン交流の紹介 ・東京2025世界陸上で活躍が期待されるカナダ選手の紹介 【講師】 ・カナダの紹介 ・児童から講師へ質問 ・終わりの挨拶

実施の様子	 <p data-bbox="1214 439 1409 611">「アンドリュー・デュアー氏による講演の様子」</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・日本とカナダの違いについて、興味をもって講話を聞いていた。 ・学校の近くで世界陸上のカナダ代表選手が合宿を行うことについて興味を示す姿が見られた。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダのことについて関心をもつきっかけとなった。 ・日本とカナダの違いについて、学ぶことができた。

＜世界陸上カナダ代表選手に向けての応援メッセージ動画への参加及び応援フラッグの作成＞

開催日時	令和7年6月～7月にかけて
会場	体育館、オンラインなど
参加者	6年生 35人（有志）
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・世界陸上カナダ代表選手に向けて、応援メッセージへの参加及び応援フラッグを作成する。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・応援メッセージ動画への参加 ・応援フラッグの作成
実施の様子	 <p data-bbox="1257 1756 1409 1928">「応援動画撮影への参加の様子」</p>

		<p>「作成した応援フラッグ」</p>
<p>児童・生徒の反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の近くで世界陸上カナダ選手が合宿を行うことを知り、活動に参加してみようと思いました。 ・今年の世界陸上で応援してみたいです。(児童感想) 	
<p>取組み結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市で合宿を行なった世界陸上カナダ代表選手への応援をきっかけとして、世界陸上やカナダ選手へ興味、関心をもつことができた。 	

<ロンドンパラリンピック金メダリスト（岐阜県出身：中嶋茜選手）とのゴールボール体験>

<p>開催日時</p>	<p>令和7年11月20日 9時15分～12時20分</p>
<p>会場</p>	<p>岐阜市立長良東小学校 体育館</p>
<p>参加者</p>	<p>講話：全校670名 体験会：6年生 105名</p>
<p>ねらい・目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中嶋選手から話を聞くことを通して、視覚障がいをもった人たちの生活や思いを知ることができる。 ・ゴールボールの体験を通してパラスポーツと親しむことができる。
<p>活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○中嶋選手講演会 <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がい者の方への接し方や障がいや性別、年齢などの違いを尊重しあうことの大切さについて ・ゴールボールの魅力について ○ゴールボール体験会（40分×3回）

<p>実施の様子</p>	 <p>「中嶋茜選手による講話の様子」</p>  <p>「ゴールボール体験の様子」</p>
<p>児童・生徒の反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初めてゴールボールを体験しました。ボールが想像より重かったり、音が聞こえていても、飛んでくるところがわからなかったり、とても難しかったです。また、中嶋選手から本物のメダルを見せてもらって、とても貴重な体験をすることができました。(児童感想)
<p>取組み結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本物の金メダリストと触れ合うことで、スポーツの楽しさや価値について学びを深めることができた。 ・パラスポーツを通して、障がいについて学びをつなげることができた。

岐阜市立三里小学校 実績報告書

学校名		岐阜市立三里学校			
所在地		岐阜市六条北2丁目5番1			
学校規模		全校生徒数	677	クラス数	27
本事業への参加者		6年・137人			
実施概要	月	概要			
	5月				
	6月	カナダ学習	アンドリュー・デュアー氏（東海学院大教授）に来ていただき、カナダの文化・食等を学ぶ。世界陸上出場予定のカナダ選手を知る。		
	6～7月	カナダ応援フラッグの作成  カナダ応援フラッグを作っている様子 ※東京2025世界陸上のポスターを掲示	 フラッグ完成までに携わった児童		
	7月	応援メッセージ動画参加	カナダ選手に向けての応援動画を撮影		
9月	東京2025世界陸上に関わって	選手のセレモニー等の様子を紹介・視聴			

実施内容詳細

開催日時	令和7年6月18日 11時25分～12時10分（45分）
会場	体育館
参加者	6年 136人
ねらい・目的	カナダの文化や世界陸上について知る。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、講師紹介 ・カナダの紹介（歴史、文化、自然、食） ・世界陸上で活躍が期待される選手の紹介 ・児童から講師への質問 ・記念撮影
実施の様子	
児童・生徒の反応	海外に行った経験がない子が多いので、カナダのことを興味深く聞いていた。
取組み結果	カナダに関心をもつことができた。アンドリュウ先生の在日期间が長いため、質問をすると分かりやすい日本語で回答があった。ALT以外の外国の方から直接話を聞く、大変良い機会になった。

関市立旭ヶ丘小学校 実績報告書

学校名	関市立旭ヶ丘小学校			
所在地	関市旭ヶ丘2丁目1番1号			
学校規模	全校生徒数	309	クラス数	14
本事業への参加者	6年・70人 4年・38人			
実施概要	月	概 要		
	5月	「カナダ」を知ろう	・カナダ出身の方からカナダについて教えていただく。	
	6月	「カナダ」を知ろう 「福祉」とは	・カナダ在住の方にカナダについて教えていただく。 ・I'm POSSIBLEでの学習	
	7月	「ゴールボール」を体験しよう 世界陸上カナダ人選手を応援しよう	・パラリンピアン中嶋茜さんとの交流を通して、ゴールボールを体験する。 ・世界陸上2025出場カナダチームの応援のため、フラッグやメッセージカード作り、動画撮影を行う。	
	8月	カナダ選手にインタビューしよう	・新聞記者体験として、カナダ選手にインタビューをしたり、記事づくりを体験したりする。	
	9月			
	10月	パラ陸上選手と交流しよう	・石田駆選手による講話や交流	
	11月			
	12月			
	1月	「福祉」についてまとめよう 日本と違う「世界」についてまとめよう	・学習したり体験したりしたことを思い出し、まとめる。	
	2月	学習発表会をしよう	・1人1人が1年の学習の成果を仲間や保護者に伝える。	
	3月			

実施内容詳細

<カナダ人との交流>

開催日時	令和7年5月26日 10時40分～11時25分 (45分)
会場	音楽室
参加者	4年 38人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダについて理解を深める。 ・カナダについて調べたことの中から疑問に思ったことを質問し、教えていただくことを通して、カナダについてより親しみをもつ。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、講師紹介 ・講話(アンドリュー・デュアー先生) カナダのなりたち、カナダの紹介 ・質疑応答 ・お礼の言葉、あいさつ ・記念撮影
実施の様子	 <p>「デュアー先生のお話を聞く様子」</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて知る話も多く、児童も興味深くお話を伺った。たくさんの質問をすることができた。 ・カナダは自然が多く、近くに動物が来ることもあるとわかった。 ・とても寒くなるため、氷の上を歩いて登校や通勤をすると聞いて、おどろいた。 ・多くの写真を見せていただき、とても興味深く話を聞いたり、驚きを口にしたりしていた。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダについて、自分達で調べただけでは分からなかったことを知ることができ、関心を深めることができた。その後の、自分のテーマ発表の参考にすることもできた。

<カナダ岐阜県人会とのオンライン交流>

開催日時	令和7年6月25日 8時45分～9時30分(45分)
会場	音楽室<オンライン>
参加者	4年 38人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダについて理解を深める。 ・自分たちが住んでいる日本や関市についてカナダの方々に伝える活動を通して、ふるさとの魅力を再認識する。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、講師紹介 ・カナダの方々の自己紹介 (居住地の周囲の様子、日常生活の過ごし方等) ・児童による日本や関市の紹介 ・質疑応答 ・お礼の言葉、あいさつ、記念撮影
実施の様子	 <p>「日本や関市についてカナダの方に紹介をしている時の様子」</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダというここから遠く離れた場所にいる人とリアルタイムで交流することができ、世界とのつながりや時差を体感することができた。 ・外国に住んでいる日本人、日本のことを好きな外国人、日本のよさを世界に伝えようとしている人、それぞれの話を聞くことを通して、改めて日本のよさを感じることができた。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・世界で活躍している方の話を聞いたり、通訳している様子を目の当たりにしたりすることができ、キャリア教育の視点でも、児童に考えさせるよい機会であった。 ・遠く離れた人とオンラインでつながる経験ができた。

<I' m possible を使った授業>

開催日時	令和7年6月27日
会場	各教室
参加者	6年 70人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックを題材に共生社会に気づく。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・動画を見て、パラリンピックについて知る。 ・パラリンピックスポーツについて知る。 ・公平について考える。 ・パラリンピックのレガシーについて考える。
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピアンが全力でプレーをしていた。思いっきり喜んだり悔しがったりしていて心を動かされた。 ・パラリンピックスポーツは、道具やルールが工夫されていて面白い。だれでも参加することができるのが魅力。 ・公平に参加できるのがパラリンピックの魅力。そのための工夫があることがわかった。 ・パラリンピアンは、誰もが過ごしやすい社会になることを願ってプレーをしていることを知った。そんな社会になったらいいなと思う。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・「I' m POSSIBLE」の教材がネット上にあることで活用がしやすかった。動画もあったので、パラリンピックの魅力に児童が気付きやすかったと思う。 ・教材を活用しながら進める中で、共生社会の視点で考えられた。活用しやすい教材なので、今後も使えると思う。 ・時間が取れず、短い時間で流すように学習することになってしまった。

<応援フラッグ等の制作>

開催日時	令和7年6月下旬～7月末ごろ
会場	各教室
参加者	4年 38人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・世界陸上2025東京大会事前合宿をしているカナダチームの応援を通して、日本以外の国に興味をもつ。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・世界陸上2025東京大会や、カナダについて知る。 ・岐阜県に来るカナダチームの応援方法を考える。 ・フラッグの図案を考え、フラッグを制作する。 ・応援メッセージの動画撮影 ・メッセージカードの制作。
児童・生徒の反応	 <p>「カナダチーム応援フラッグを制作する様子」</p>
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダチームに関心をもち、ニュースを意識的に見ている児童や自分で調べたりしている児童が増えた。 ・自分たちの作ったフラッグが飾られている映像をみて、自分たちの応援が選手の力になったという充実感を得ることができた。 ・カナダチームに対しても、これまで以上に応援したいという気持ちをもつことができた。

<中嶋選手との交流会>

開催日時	令和7年7月4日 9時35分～12時10分 (135分)
会場	体育館
参加者	6年 70人
ねらい・目的	パラリンピックでの経験やパラアスリートとして感じていることを教えていただくことで「共生社会」への理解を深める。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、講師紹介 ・中嶋 茜選手による講話 ・中嶋 茜選手とのゴールボール体験 ・お礼の言葉、あいさつ、記念撮影
実施の様子	 <p>「中嶋選手の講話を聞く様子」</p>  <p>「ゴールボールを体験している様子」</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・好きなことを続けることで、金メダルを獲得してかっこいいと思った。 ・正確にボールをゴールに入れたり、身体全体で守ったりしていたのがすごかった。やってみて、ゴールボールの楽しさが分かった。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・中嶋選手の明るい人柄で楽しい時間になった。障がいについて見方が変わる子もいた。ゴールボール体験は来年度もやりたい。 ・学級ごとの開催にすることで、より長時間ゴールボール体験ができ、満足感につながった。

<石田選手との交流会>

開催日時	令和7年10月30日 13時35分～15時00分 (85分)
会場	音楽室(講話)、運動場(体験交流)
参加者	6年 70人
ねらい・目的	パラリンピックでの経験やパラアスリートとして感じていることを教えていただくことで「共生社会」への理解を深める。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、講師紹介 ・石田 駆選手による講話 ・石田 駆選手との50m競走 ・質疑応答 ・お礼の言葉、あいさつ、記念撮影
実施の様子	 <p>「石田選手の講話を聞く様子」</p>  <p>「石田選手と運動場で競争をしている様子」</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・病気をしてもその困難と向き合って受け入れて、前を向いて努力して結果を残している生き方がカッコいいと思った。 ・左腕が思いっきりふれなくても、とてもスピードが速くてびっくりした。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・困難なことに対してどのように乗り越えていったのかを教えてくださいましたことがよかったです。 ・実際に走ることで、アスリートの素晴らしさを感じられるので、来年度も走る活動は入れたい。

中津川市立山口小学校 実績報告書

学校名	中津川市立山口小学校			
所在地	中津川市山口1647-21			
学校規模	全校生徒数	40	クラス数	4
本事業への参加者	全校・40人			
実施概要	月	概 要		
	月	タイトル	取組み概要を簡潔に記載	
	4月	共生社会の推進 「カナダ人陸上選手との交流」	・岐阜清流ハーフマラソンに参加するカナダ人マリディ選手に来校していただき、日本の文化や中津川市の文化を紹介し交流した。(全校)	
	6月～	共生社会の推進 「応援フラッグの作成」	・高学年を中心にして、東京世界陸上に出場する選手に向けて、山口小のキャラクターを描いて作成した。	
	7月	共生社会の推進 「応援動画の撮影」 国際理解の推進 「カナダ人講師によるカナダ学習」	・希望者を募り、東京世界陸上に出場するカナダ人選手へのメッセージ動画を撮影した。 ・アンドリュー先生に、カナダの成り立ちやカナダの紹介をしていただいた。	
	9月	共生社会の推進 「世界陸上視聴」	・東京世界陸上のパンフレットを全員に配付して、カナダ選手を応援するように各家庭へ依頼し、家族で視聴していただいた。	
	10月			
	11月	共生社会の推進 「東京世界陸上・事前合宿実績紹介展示」	・サイン付きユニフォームと合宿時の交流紹介パネル等を個別懇談会に合わせて展示し、より多くの人に観ていただいた。	
	12月			
	1月			
	2月	共生社会の推進 「ゴールボール金メダリスト中嶋茜選手講演・体験会」	・地元中津川市出身の中嶋茜選手を招いて、講話とゴールボールの体験を行った。	
	3月			

実施内容詳細

<カナダ人陸上選手マリンディ・エルモア氏との交流会>

開催日時	令和7年4月24日 11時45分～14時00分(135分)
会場	集会室、6年教室
参加者	全校 39人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリンピアンとの講話を聴いたり、給食などで交流したりすることで、自分の夢やこれからの人生について考えることができる。
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 マリンディ選手による講話 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4年生～6年生 自己紹介 2 給食 (6年生教室) 3 文化体験 (山口紹介・けん玉・お手玉・コマ回し) 4 感想交流・お礼
実施の様子	 <p>「けん玉体験の様子」 「6年生との給食の様子」</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い頃は1500mで、そして、何年も経ってから母としてマラソンに挑戦し、見事オリンピックに出場されたことに大変驚かされました。 ・ いつまでも目標をしっかりと持って努力し続けることの大切さを、マリンディ選手から学びました。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリンピックに3度出場し、現役のマラソンランナーとして、清流マラソンや東京世界陸上に出場予定の選手と触れ合うことができ、子どもたちは貴重な時間を過ごすことができました。 ・ けが等で大会に出場できなかったことは残念でしたが、子どもたちは、「マリンディ選手に頑張ってもらいたい」という願いを込めて、応援フラッグの作成や応援動画の撮影に積極的に参加することができました。 ・ マリンディ選手から積極的に話しかけてくれたので、子どもたちの緊張もほぐれ、明るい雰囲気の中での交流となりました。

<アンドリュー・デュアー教授との交流会>

開催日時	令和7年7月14日 13時30分～14時15分(45分)
会場	集会室
参加者	3年～6年 26人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ カナダ出身のアンドリュー先生から、カナダの地形や気候、土地利用、生活等の特色について学び、カナダに対する興味や関心を深めることができる
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 岐阜県とカナダのホストタウン交流の紹介 2 講師紹介 3 カナダ紹介 4 質問コーナー 5 お礼
実施の様子	 <p>「講話をするアンドリュー先生の様子」</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 去年のカナダとのオンラインの授業もいろいろなことが分かったけど、アンドリュー先生から直接話を聞くことができ、カナダに行きたくなった。 ・ ヘラジカの話はすごかった。あんなに大きなシカが家の前や車の前に現れたら怖いけど、カナダの人は普通にしていると聞いてびっくりした。
取組み結果	<p>アンドリュー先生の明るい人柄と、子どもたちに話す内容を合わせてくれたことで、親しみをもって話を聞いたり質問したりすることができました。</p> <p>カナダについてさらに見識を深めることができ、カナダについてより親しみを感じることができました。</p>

<中嶋茜選手との交流会>

開催日時	令和8年2月12日 13時30分～15時00分 (90分)
会場	集会室、体育館
参加者	3年～6年 27人
ねらい・目的	視覚障がいをもった人たちの生活や思いを理解するとともに、ゴールボールを通して困難にも立ち向かい明るく生活している中嶋選手の生き方に憧れをもち、前向きに明るく生きようとする意識を高める。
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 ホストタウン交流について 2 中嶋選手による講演 3 ゴールボールの説明とデモンストレーション 4 体験会 5 お礼・記念撮影
実施の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「講演の様子」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「ゴールボール体験の様子」</p> </div> </div>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物など、見えないのに普段どうやって生活をしているかを尋ねたら、同じ買い物でもいろいろな方法があって、一人で行くこともあると聞いて驚いた。もし、目の不自由な人などに会ったら、全部助けるのではなく、本当に困っていることを助けられるようになりたい。 ・中嶋さんのやっている「ゴールボール」をやってみて、真っ暗で怖かったけど楽しかったです。中嶋選手はあの真っ暗な中で、ものすごい速いボールを、鈴を頼りに全身で止めているのを知ってすごいと思いました。
取組み結果	中嶋選手の講話の中で、「自分の体験をもとに、いじめや差別をする側にも、される側にもならないためには 知 ることが大切。また、好きだないいなって思ったら 続ける ことが何かにつながる。」という言葉が、子どもたちの心に響きました。そして、何より中嶋選手の笑顔いっぱいの明るい声で、子どもたちは勿論のこと、職員にも元気を与えてくださいました。

下呂市立下呂小学校 実績報告書

学校名	下呂市立下呂小学校			
所在地	下呂市森285番地			
学校規模	全校生徒数	189人	クラス数	10学級
本事業への参加者	4年・32人			
実施概要	月	概 要		
	5月	I' m Possible	1-1 パラリンピックってなんだろう？	
	6月	I' m Possible	1-5 パラリンピアンが学校に来るとしたら	
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダ学習 ・応援メッセージ動画の撮影 ・応援フラッグの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダ出身のアンドリュー先生から、カナダについて紹介してもらった。 ・パリオリンピック・パラリンピックに出場するカナダ選手への応援動画を撮影した。 ・カナダ選手を応援するフラッグ作りを行った。カナダの国旗などを表現した。 	
11月	パラリンピアンとの交流会	石田駆選手の講話と、50m走体験		

<アンドリュー・デュアー教授によるカナダ学習>

開催日時	令和7年7月11日 10時25分～11時10分（45分）
会場	教室
参加者	4年 32人
ねらい・目的	カナダ出身の先生との交流を通して、カナダの歴史や文化を知り、カナダに対して親しみを持つことができる。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童代表によるあいさつ ・岐阜県職員から、カナダとホストタウン交流の紹介。講師の紹介（東海学院大学教授 アンドリュー・デュアー先生） ・アンドリュー先生からの講話「カナダの紹介」 ・児童から講師へ質問 ・児童から講師へお礼の言葉

実施の様子	 <p>【アンドリュー先生によるカナダ紹介の様子】</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダについて自然や食べ物など関心をもつことができた。 ・写真がたくさんあり、分かりやすく話してくださったので、理解が深まった。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダという国名は知っていても、どこにあるのか、どんな風景なのか、何があるのかなど知らない児童もいたため、カナダについて知ることができてよかった。カナダがより身近に感じて、フラッグ作りにつながってよかった。

<I' m possible を使った授業「パラリンピアンが学校に来るとしたら？」>

開催日時	令和7年10月31日 14時20分～15時05分（45分）
会場	4年教室
参加者	4年 32人
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「パラリンピアン」について知る 2. アニメーションを見る 3. たまちゃんが困っていることについてグループで考える 4. アニメーションを見て振り返る
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピアンについて理解を深めることができた。 ・実際にパラリンピアン（石田選手）を招待するので、下呂小学校のバリアフリーがどうなっているのか、石田選手とどのように関わると良いか主体的に考える姿があった。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックや、パラリンピアンについて知らない児童もいたため、関心をもつきっかけになった。 ・石田選手との交流を楽しみにする児童が増えた。

<石田駆選手との交流会>

開催日時	令和7年11月12日 10時25分～12時05分（100分）
会場	教室、グラウンド
参加者	4年 32人

ねらい・目的	石田選手の生い立ちを知ると共に、夢を諦めることなく、目標に向かって努力し続けている素晴らしさを感じることができる。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・石田選手入場 ・児童による挨拶 ・岐阜県職員から、石田選手の紹介 ・石田選手から講話 ・石田選手への質疑応答 ・50m競争 ・写真撮影
実施の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p style="text-align: center;">【石田選手の講話の様子】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p style="text-align: center;">【走り方の指導を受けた様子】</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・石田選手が、大きな病気を乗り越えて挑戦した姿に感動する児童がいた。自分も努力したいという願いをもつ児童もいた。 ・一緒に50メートルを走り、パラリンピアンの速さを体感できて喜ぶ児童が多かった。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピック選手に会えた経験は、児童達にとってかけがえのないものになった。 ・50メートル走を一緒に走ることができ、石田選手のすばらしさを実感していた。 ・石田選手が写真を撮ったり、サインを書いてくださったりしたことを、児童たちはとても喜んでいて、サインを宝物にしていた。 ・4年生の児童は、総合的な学習で福祉を学んでいたため、つながりがあり、学びが深まった。

多治見市立笠原小学校 実績報告書

学校名	多治見市立笠原小学校			
所在地	多治見市笠原町3387-308(令和8年3月末日まで)			
学校規模	全校生徒数	311名	クラス数	14
本事業への参加者	1～3年:56名・4年生:50名・5年生:55名・6年生:64名			
実施概要	月	概要		
	5月	校内職員に「岐阜県とカナダとのホストタウン交流推進事業」についての周知し、取組を開始。	職員に「岐阜県とカナダとのホストタウン交流推進事業」の概要等、今年度の計画について提案。該当学年には内容を情報共有した。	
	6月	パラスポーツ体験の開始(車いすバスケットボール、ボッチャ、シッティングバレーボールなど)	今年度、クラブ活動の1つに、「パラスポーツクラブ」を新設し、本事業への意識づけやパラスポーツへの参加意識を高めた。	
	7月	パラスポーツの理解 世界陸上、パラ陸上に出場する選手に向けての応援メッセージカード、応援フラッグ、応援動画の製作	世界陸上・パラ陸上大会への出場選手に向けての応援動画を5年生、6年生が出演し動画を製作した。 メッセージカード、応援フラッグづくりなどは全校に募り、実施した。	
	9月	全校児童に夏休み中に実施された歓迎セレモニーの様子などを紹介	児童は参加することのなかった歓迎セレモニーの様子を紹介。偶然、本校児童がつくったカードを下げている選手にも遭遇。	
	11月	パラスポーツ体験(5年生対象)	網本選手との交流を前に、競技用車いすの操作練習を行った。	
	12月	カナダについて知る	カナダについて予備知識をもつ機会を設けた。(4年)	
	1月	網本麻里選手を招いての講話と車いすバスケットボール体験	本事業のテーマの1つである「共生社会の実現」に向けた取組として、車いすバスケットボール女子日本代表の網本麻里選手を招いて講話と体験授業を行った。	
	2月	パラスポーツへの関心を高めるため、ボッチャ体験を行う。	6月に寄贈を受けたボッチャボールを活用して、低学年でも参加できるパラスポーツを紹介。	
	3月	日本在住カナダ人によるカナダ紹介 次年度に向けての事業内容の確認 笠原小学校、笠原中学校が義務教育学校として笠原小中学校となるため、次年度の事業の申し込みについて相談。文部科学省指定の人権教育とも関連させながら実施の方向を確認	東海学院大学デュアー先生によるカナダ紹介を聞く。 今年度の事業をもとに次年度も「パラスポーツ」に特化した取り組みに参加することを小中の校長で確認。本事業への参加も3年目となり、次年度の5年生から9年生までが事業に参加したことになる学校となることや競技用車いすの常備という利点もあり、事業参加の予定。英語教育に加え、パラスポーツも学校の特色の1つである。	

実施内容詳細①

<世界陸上・世界パラ陸上に向けての応援活動>

開催日時	令和7年6月25日（水）～7月17日（木） 20分休みおよび昼休みの時間を活用して
会場	多治見市立笠原小学校 会議室 多治見市立笠原中学校 体育館
参加者	応援メッセージカードづくり 1～6年生有志18名 応援動画づくり 6年生64名 2～5年生有志14名 応援フラッグづくり 2～6年生有志：12名
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京2025世界陸上」と「ニューデリー2025世界パラ陸上」に出場する選手を応援するための応援メッセージフラッグをつくり、「パラスポーツへの共感」と、本校が長年推進してきている「国際理解教育」の具体的な学びの場として、児童にとっての豊かな体験活動・学習とすることができる。 ・選手との間接交流を通して、「共生社会の実現」や「国際理解の推進」に向けて強く歩み出す心情を養う。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京2025世界陸上」と「ニューデリー2025世界パラ陸上」に出場する選手を応援するための応援メッセージフラッグをつくる。 ・事前合宿のために岐阜県にやってくるカナダの選手に向けて、「ようこそ岐阜県へ」という気持ちや「大会で頑張ってください！」という気持ちのいっぱい詰まったカードをつくってプレゼントする。 ・昨年度、笠原小学校を訪問した二人の選手に向けて、応援メッセージをつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ◆グレッグ・スチュワート選手（砲丸投げ：東京パラリンピック、パリ・パラリンピック金メダル） ◆ジェシー・ゼスー選手（走り幅跳び：パリ・パラリンピック銀メダル）
実施の様子	 <p>【応援フラッグづくり】 【有志による応援動画】 【6年生による応援動画】</p>
児童・生徒の反応	<p>直接会うことはできないけれど、事前合宿で岐阜県に来て、大会でメダルを獲得してほしいし、選手の皆さんに頑張してほしいです。応援動画づくりも楽しかったです。</p> <p>応援フラッグづくりもデザインから自分たちで考えて、いいものが作れたと思います。日本の選手にも、カナダの選手にも頑張してほしいです。</p>
取組み結果	間接交流とはなったものの、国際理解の推進の具体的な活動の一つとすることができた。参加児童に感謝したい。

実施内容詳細②

＜パラアスリート網本麻里選手に学ぶ～講演会&車いすバスケットボール体験～＞

開催日時	令和8年1月19日（月） 9時35分～11時25分（20分休みを含む1時間50分）
会場	多治見市立笠原中学校 体育館
参加者	5年生：55人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・講話や体験を「本物を知る・一流の人を知る」貴重な機会とすることができる。 ・パラリンピックの経験や、現在に至るまでの網本麻里選手の生き方や、ものの見方・考え方に触れることで「共生社会の実現」に向けて主体的に行動する。
活動内容	<p>＜はじめの会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童代表と校長からの歓迎のあいさつ ・児童による講師紹介 <p>＜講話＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網本麻里選手の生い立ちについて ・「障がい」ということについて ・車いすバスケットボールとは？ <p>＜体験授業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技用車いすの操作練習 ・車いすバスケットボールの試合体験 <p>＜終わりの会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童代表と校長からのお礼の言葉 ・花束と記念品贈呈 ・記念の集合写真撮影
実施の様子	   <p>【講演会の様子】 【車いすバスケットボール体験】 【車いすに乗っての試合】</p>
児童・生徒の反応	<p>前日まで大会だったのに、私たちのために笠原小学校まで来てくださって、ありがとうございました。車いすにうまく乗れているところをほめてもらえて、とてもうれしかったです。車いすバスケットは、車いすを動かすことと、パスしたり、シュートしたりするのが難しかったけれど、とても楽しかったです。お話では「障がい」をどう考えるか、ということについても学ぶことができました。ありがとうございました。また、遊びに来てくださいね。</p>
取組み結果	<p>車いすバスケットボールという非日常のスポーツに対して児童の関心を寄せることができ、さらに網本麻里選手ならではの人間力に感服。今年度も充実した活動を展開することができた。本校で10台常備している競技用車いすを活用した。</p>

実施内容詳細③

＜日本在住のカナダの方からのカナダ紹介「デュアー先生からカナダのお話を聴く会」＞

開催日時	令和8年3月12日（木） 14時35分～15時20分（45分）
会場	多治見市立笠原小学校 会議室
参加者	4年生：50人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・3年目の推進校として、昨年度からの活動を継続させ、4年生児童が「岐阜県とカナダとのホストタウン交流」に参加し、「共生社会の実現」、「国際理解教育の推進」の活動の一翼を担うことができる。 ・「国際理解の推進」が一層、図られるように、日本語での対話が可能な機会により、カナダを知ることによって今後の活動への足掛かりとすることができる。
活動内容 ※同じ内容を 2クラスが 会議室で行う。	<p>＜はじめの会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童代表 歓迎のあいさつ ・校長あいさつ ・事業紹介並びに講師紹介 <p>＜デュアー先生のお話＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カナダの文化、生活、スポーツなどの紹介 <p>＜デュアー先生への質問タイム＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話を聞いて、内容に応じた質問をする。 ・カナダについて知りたいことを質問する。 <p>＜紙飛行機づくり体験＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デュアー先生によく飛ぶ紙飛行機の作り方を教えていただく。 <p>＜終わりの会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童代表 お礼の言葉とお土産の贈呈
実施の様子	 <p>【デュアー先生のお話】 【質問タイム】 【紙飛行機づくり】</p>
児童・生徒の反応	デュアー先生のお話を聞いて、カナダのことを知ることができました。国旗や行事や、動物、スポーツ、食べ物など、知ることができました。紙飛行機づくりも楽しかったです。デュアー先生、ありがとうございました。
取組み結果	昨年度に引き続き、4年生を対象とした活動を実施した。次年度はパラスポーツ体験も行う予定であり、学年に応じた活動を拡充することができた。 また、デュアー先生から「よく飛ぶ紙飛行機の作り方」も伝授してもらい、親近感がわく機会をもつことができた。

羽島市立正木小学校 実績報告書

学校名	羽島市立正木学校			
所在地	羽島市正木町坂丸4丁目3番地			
学校規模	全校生徒数	692人	クラス数	27学級
本事業への参加者	4年・106人			
実施概要	月	概 要		
	5月	総合的な学習の時間	カナダについて調査活動	
	6月	総合的な学習の時間	大学教授の講話「カナダについて」	
	7月	総合的な学習の時間	カナダ陸上選手 応援フラッグ作成 カナダ陸上選手 応援動画撮影	
	8月			
	9月	総合的な学習の時間	パラスポーツについて調査活動	
	10月	総合的な学習の時間	パラリンピックについて調査活動	
	11月	総合的な学習の時間	ゴールボール 田口選手 講話・体験	
	12月	総合的な学習の時間	車椅子バスケットボール 網本選手 講話・体験	
	1月	総合的な学習の時間	カナダ在住者とのオンライン交流	
	2月	総合的な学習の時間	福祉教育について発表会 3年生に向けて発表	
	3月			

実施内容詳細

<アンドリュース教授による講話「カナダについて」>

開催日時	令和7年6月6日 10時30分～11時15分 (45分)
会場	会議室
参加者	4年 105人
ねらい・目的	カナダについての理解を深める。
活動内容	○カナダの国土についての紹介 (地理・名物・動物・気候など) ○質疑応答
実施の様子	 <p>カナダの在来種の紹介</p>

児童・生徒の反応	日本の特徴との違いに感銘を受け、「すごい。」や「いいな。」などの反応があった。また、「行ってみたい。」や「調べてみたい。」など興味関心をもつ児童もおり、出前授業後に自主的にカナダについて調査する姿があった。
取組み結果	異文化交流という観点で貴重な機会となった。また、臨場感のある画像などの資料もあり、異国についての興味関心が強くなった。

<田口侑治選手とのゴールボール体験会>

開催日時	令和7年11月13日10時30分～15時05分（180分）
会場	体育館
参加者	4年 105人
ねらい・目的	視覚障がいのある方についての理解を深める。 体験を通して、パラスポーツについての理解を深める。
活動内容	○田口選手の講話 ○質疑応答 ○ゴールボール体験（45分間×3学級）
実施の様子	 <p>田口選手による講話 ゴールボール体験会</p>
児童・生徒の反応	視覚障がいのある方の見え方や感じ方について、「そうだったんだ。」などと、これまでの感覚とのズレに気付く反応が多くあった。また、「田口選手の話聞いて、これから視覚障がいのある方を見かけたときは、話し方や関わり方に気を付けて、思いやりをもちたい。」と感想を述べる児童もいた。さらに、ゴールボール体験会では、鈴の音に耳を澄ませたり、得点が入った時や得点を防いだ時には田口選手や仲間と喜び合ったりする姿が多く見られた。
取組み結果	体験的に視覚障がいについてやパラスポーツについて理解を深めることができた。また、オリンピックで獲得した金メダルに触れる機会も設けていただき、その経験から、「学校生活を頑張ろう。」や「夢に向かって努力しよう。」と向上心が大きく膨らんだ児童も多くいた。プ

	ロの生き方を学ぶ貴重な時間ともなった。
--	---------------------

<網本麻里選手との車椅子バスケットボール体験会>

開催日時	令和7年12月11日13時30分～15時15分（100分）
会場	体育館
参加者	4年 105人
ねらい・目的	身体障がいのある方についての理解を深める。 体験を通して、パラスポーツについての理解を深める。
活動内容	○網本選手の講話 ○質疑応答 ○車椅子バスケットボール体験
実施の様子	 <p>網本選手による講話</p>
児童・生徒の反応	身体障がいのある方の日常生活について、「そうするんだ。」などと、自分の日常生活と比較する姿があった。また、「網本選手の話聞いて、これから身体障がいのある方を見かけたときは、声の掛け方や手の差し伸べ方に気を付けて、相手意識をもちたい。」と感想を述べる児童もいた。さらに、車椅子バスケットボール体験会では、乗りなれない車椅子に手こずりながらも、得点が入った時や得点を防いだ時には網本選手や仲間と喜び合ったりする姿が多く見られた。
取組み結果	体験的に身体障がいについてやパラスポーツについて理解を深めることができた。また、プロの世界で闘う本物の本気に触れ「スポーツ少年団の練習も頑張ろう。」や「夢を叶えるために、網本選手のように努力したい。」と向上心が大きく膨らんだ児童も多くいた。

<カナダ在住の方とのオンライン交流「カナダについて」>

開催日時	令和8年1月9日8時35分～10時10分（90分）
会場	会議室
参加者	4年 105人
ねらい・目的	カナダについての理解を深める。
活動内容	○現地での生活についての紹介

	(地理・名物・動物・気候など) ○質疑応答
実施の様子	 <p>カナダとのオンライン交流</p>
児童・生徒の反応	日本との生活習慣の違いに、「食べてみたい。」や「触ってみたい。」などの反応があった。また、「もっとカナダについて知りたい。」や「調べたい。」など興味関心をもつ児童もおり、現地在住の方に多く質問する姿があった。
取組み結果	異文化交流という観点で貴重な機会となった。時差がある現地の方とオンラインで繋いだことで、それが児童にとってより新鮮な経験となった。

岐阜市立三輪中学校 実績報告書

学校名	岐阜市立三輪学校			
所在地	岐阜市石原1丁目12			
学校規模	全校生徒数	329	クラス数	13
本事業への参加者	1年115人、2年生97人、3年生117人			
実施概要	月	概 要		
	5月	タイトル	取組み概要を簡潔に記載	
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ■共生学習について ■アンドリューデュアー先生の講話 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションを使って、カナダチームとの交流事業や共生学習をする目的を伝えた。 ・カナダの食生活や文化について講話していただいた。 	
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ■カナダ応援動画 ■応援フラッグの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生を中心にカナダチームの応援動画を撮影した。 ・美術部を中心にカナダチーム応援フラッグを作成した。 	
	8月			
	9月	<ul style="list-style-type: none"> ■歓迎セレモニーでカナダ国歌の斉唱 ■カナダチームの練習見学、トレーニング指導 ■カナダ選手へのインタビュー 	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダチームの歓迎セレモニーで音楽部がカナダ国歌を斉唱した。 ・三輪中学校の陸上部の生徒が参加し、カナダチームの練習の様子を見学し、トレーニングの仕方を指導してもらった。 ・三輪中学校の生徒3名がカナダ選手へインタビューを行った。 	
	10月			
	11月			
	12月			
	1月	<ul style="list-style-type: none"> ■車椅子バスケットについて知る ■車椅子バスケット体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子バスケットのルールや網本選手について、プレゼンテーションや動画を使って説明した。 ・車椅子バスケット日本代表網本麻里選手による講話と車椅子バスケット体験を行った。 	
	2月			
	3月			

実施内容詳細

<アンドリューデュアー先生による講話>

開催日時	令和7年6月18日14時50分～15時40分（50分）
会場	体育館
参加者	全校生徒 329人
ねらい・目的	カナダの食生活や文化について知り、カナダチームを歓迎しようという気持ちを高める。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダの食生活や文化、自然についてプレゼンテーションを使って説明していただいた。 ・デュアー先生が紙飛行機作家であるため、3年生生徒が紙飛行機を作り飛ばして歓迎をした。
実施の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「入場の様子」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「講話の様子」</p> </div> </div>
児童・生徒の反応	カナダの豊かな自然や多国籍の人が互いの文化を理解し合いながら生活していることなど、日本との違いに興味をもって話を聞いていた。
取組み結果	カナダについての興味が深まり、カナダについてもっと知ってみたいという思いをもつ生徒が多くいた。また、カナダの多国籍の人種が互いに理解し合いながら生活しているということは、共生学習と関連づけることができた。

<カナダ応援動画の撮影・応援フラッグ作り>

開催日時	令和7年6月～8月
会場	体育館、オンラインなど
参加者	1年4組29人 美術部20人
ねらい・目的	岐阜に来るカナダ選手を歓迎する
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・1年4組による応援動画の撮影 ・美術部による応援フラッグ作成
実施の様子	 <p>「応援動画撮影の様子」 「応援フラッグ作成の様子」</p>
児童・生徒の反応	<p>応援動画の撮影や応援フラッグの作成に意欲的に取り組んでくれた。カナダ選手からのお礼の動画や掲示時されている応援フラッグを見てやって良かったと思った生徒が多かった。</p>
取組み結果	<p>人のために行動することで、相手が喜んでくれる経験を通じて思いやりの心を育むことができた。</p>

<カナダの国歌の斉唱>

開催日時	令和7年9月7日
会場	都ホテル
参加者	音楽部 7人
ねらい・目的	岐阜に来るカナダ選手を歓迎するために国歌を斉唱する
活動内容	音楽部による歓迎セレモニーでのカナダ国歌斉唱
実施の様子	 <p>「カナダ国歌斉唱の様子」</p>
児童・生徒の反応	歌い終わった後に、カナダ選手から盛大な拍手をもらい、「やって良かった」という思いを強く感じた。
取組み結果	立派な会場で、多くの人の前でのカナダ国歌を歌えたことが子ども達の自信に繋がり、自分達を誇らしく思うことができた。

<カナダチームの練習見学とトレーニング指導>

開催日時	令和7年9月9日
会場	岐阜メモリアルセンター
参加者	陸上部 12人
ねらい・目的	カナダチームの練習の様子の見学やトレーニング指導を通して自分の競技力向上に繋げる。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダチームの練習風景の見学 ・カナダチームのコーチからトレーニング指導
実施の様子	 <p>「トレーニング指導の様子」</p>
児童・生徒の反応	<p>トップ選手の練習の様子を見学し、トレーニングの方法を教えてもらったことで、「トップ選手になりたい」という思いをもったり、自分のトレーニングに活かしたりする姿があった。</p>
取組み結果	<p>日頃は中学生の動きしか見ていないので、トップ選手の動きを見て「こんなふうになりたい」と憧れをもつことができた。</p> <p>カナダコーチからの指導では、いつもやっているトレーニングが効果的であることがわかったり、トレーニングをする時に気を付けるポイントがわかったりしてトレーニングに対する意識が高まった。</p>

<カナダ選手にインタビュー>

開催日時	令和7年9月7日
会場	岐阜メモリアルセンター
参加者	紺谷実悠夏（2年）、田中敬（1年）、福田葉奈（1年）
ねらい・目的	カナダの選手にインタビューして聞いたことを自分の生活や競技に活かす。
活動内容	・カナダ選手にインタビューをする
実施の様子	 <p>「インタビューの新聞記事」</p>
児童・生徒の反応	「大会に向けての練習方法」や「大会に臨む気持ち」、「ゾーンに入ったことがあるか」などの質問を通して、自分の生活や競技に活かすことができた。緊張したが、やり終わった後に達成感を感じた。
取組み結果	記者として選手にインタビューする機会はなかなかないので、貴重な経験になった。自分の競技や将来の職業選択に活かすことができた。

<車椅子バスケット体験>

開催日時	令和8年1月15日13時30分～15時30分（2時間）
会場	体育館
参加者	1年生 115人
ねらい・目的	パラリンピアンとの講話を聞いたり、パラスポーツを体験したりすることで、共生とは何かについて考える。
活動内容	<p><講演の部></p> <p>①地域スポーツ課 伊藤様より事業についての説明</p> <p>②網本さんからの講話</p> <p>③質疑応答</p> <p><体験の部></p> <p>①網本選手のデモンストレーション</p> <p>②試乗体験</p> <p>③ドリブル・シュート体験</p> <p>③ミニゲーム</p>
実施の様子	 <p>「網本選手の講話」</p>  <p>「試乗体験」</p>  <p>「ドリブル・シュート体験」</p>  <p>「ミニゲーム」</p>

児童・生徒の反応

網本選手の話聞いて、「自分自身の障害をコンプレックスとは思わず、チャームポイントだと思え」という言葉がとても心に残りました。自分は自分自身の顔や性格にコンプレックスをずっと持っていて、ずっとマイナスな考え方をしながら、それと向き合ってきました。でも、この言葉を聞いて、私はコンプレックスも自分の良いところとして網本選手のようなプラスな考え方で、もっとよく考えたいと思いました。体験も自分はバスケットが苦手で不安だったけれど、それを上回る楽しさでとてもいい経験になりました。



私は、この体験を通して、パラリンピックの種目である車いすバスケの魅力を、どのようなスポーツなのかなど、様々なことを学ぶことができました。普段見てきた車いすバスケは、バスケットボールとは異なるところが、ちがうところというのを色々と見つけることができました。小回りの速さスピードも、選手の安全性を高めるための設備など、車いすバスケをする専用の車いすがあるということを知り、どのような工夫が他にもあるだろうと、車いすバスケの興味が増えました。網本選手のようなチャレンジする心を大切にし、障がいの軽度・重症関係なく、みんなが楽しめる車いすバスケについて学ぶことができたと感じています。ありがとうございました。



取組み結果

講話からは、「障害は個性である」や「障害はチャームポイント」という話から、お互いの違いを認め合うことの大切さやコンプレックスを前向きに捉えて生活することの大切さを学んだ。

車椅子バスケット体験では、パラスポーツに興味をもつ生徒が増えた。他の競技を体験したり、パラリンピックを観戦したりしたいという思いをもった。

岐阜市立精華中学校 実績報告書

学校名	岐阜市立精華中学校			
所在地	岐阜市鏡島精華1丁目11番27号			
学校規模	全校生徒数	659	クラス数	24
本事業への参加者	全学年 659人 1年 200人中心 陸上競技部、音楽部、茶道部有志			
実施概要	月	概 要		
	7月	カナダを知る学習会	日本在住カナダ人講師による「カナダの基礎知識を学ぶ」講話、質問交流。	
	7月	世界陸上カナダ選手団に向けての応援動画作成	陸上競技部員が動画を通して、カナダ選手団にエールを送る。	
	8月	応援フラッグの作成	美術部員が、オリジナル応援フラッグを作成し、エールの気持ちを示す。	
	8月	カナダ国歌練習	歓迎セレモニーでのカナダ国歌披露に向け、オンラインで指導を受ける。	
	9月	歓迎セレモニーでのカナダ国歌披露	1年生有志によるバイリンガル版（英語＋フランス語）カナダ国歌の披露。	
	9月	カナダ人コーチとのトレーニングセッション	陸上競技部員がカナダ人コーチからカナダ流ドリルを教わる。	
	9月	日本文化（茶道）紹介	茶道部員が、昼食会場に出入りするカナダ選手に対して、茶道文化を紹介する。	
	10～12月	カナダ応援凧の作成	地域で開催される「鏡島凧揚げ大会」に向け、カナダへの思いを込めたデザインの虹凧、六角凧を作成する。2月に凧揚げ大会。	
1月	パラアスリートとの交流会	岐阜 SHINE の選手、パラアスリートの那須智彦選手を招き、車いすバスケットボールを体験する。		

<カナダを知る学習会>

開催日時	令和7年7月9日 11時20分～12時05分（45分）
会場	体育館
参加者	全学年 659人
活動内容	日本在住カナダ人講師アンドリュー・デュアー先生によるカナダの基礎知識を学ぶ講演会 ・カナダの自然、地理、歴史、文化についての講話

	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒から講師への質問
実施の様子	 <p>アンドリュー・デュアーからカナダの地理を学ぶ様子</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・デュアー先生の日本語が流暢で驚いた。カナダだけでなく日本に対する愛も伝わってきた。 ・共生社会の大切さがよく分かった。様々な国のことを知ることから始めていきたいと思った。 ・カナダの食文化に興味を持った。実際に現地で食べてみたい。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・この講演会をきっかけに各種取組が続いていくので、その入口として基礎知識を得る機会があってよかった。 ・英語を使って質問をする生徒がいて、参加者側からも共生社会の大切さを示すことができた。 ・質問の質にばらつきがあった。講演会の前に事前学習・調査活動を入れておくと、より質問の内容も充実したと思う。

<世界陸上カナダ選手団に向けての応援動画作成>

開催日時	令和7年7月9日 12時45分～13時05分 (20分)
会場	体育館
参加者	陸上競技部員 52人
活動内容	カナダ選手団に向けた応援動画の撮影
実施の様子	

	動画撮影中の様子
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・部員の仲間と笑顔でエールを送ることができて良かった。 ・「Go Canada go!」のフレーズが気に入っている。大きな声で応援することができた。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・動画撮影の希望者を募ったところ陸上部全員の参加があった。 ・撮影時は生徒のアイデアで部Tシャツに着替えるなど、統一感のある応援をすることができた。

<応援フラッグの作成>

開催日時	7月放課後部活～夏休み部活
会場	第2美術室
参加者	美術部員
活動内容	カナダ応援フラッグのデザイン・作成
実施の様子	 <p>完成した応援フラッグ</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・将来デザインに関わる仕事がしたいと思っている。自分たちの力を生かす機会をもらえて嬉しかった。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・部員間で複数のデザイン案を出し、部内投票を行うなど、多くの部員がプロジェクトに関わることができた。 ・カナダ選手への応援と、個性を伸ばすことの両立ができた。 ・地域の文化祭に出展することで、地域の方にも見ていただけた。

< 歓迎セレモニーでのカナダ国歌披露 >

開催日時	<p>【カナダ国歌練習】 令和7年8月19日 13時00分～14時00分 (60分)</p> <p>【歓迎セレモニー】 令和7年9月7日 15時15分～16時00分 (45分)</p>
会場	<p>【カナダ国歌練習】 第2音楽室</p> <p>【歓迎セレモニー】 都ホテル 岐阜長良川</p>
参加者	<p>1年生音楽部員有志、1年生有志 10人</p>
活動内容	<p>世界陸上カナダ選手団歓迎セレモニーで三輪中学校とともにカナダ国歌を披露。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カナダ国歌は英語とフランス語のバイリンガル版に挑戦。 ・事前にNPO世界の国旗・国歌研究会共同代表で声楽家の新藤昌子先生にカナダ国歌の歌い方の指導をオンラインで受ける。 ・オンライン指導で各国の国歌の意義についても学ぶ。 ・歓迎セレモニーでは三輪中学校と合同で知事の歓迎挨拶の後カナダ選手に向けてバイリンガル版カナダ国歌を披露した。
実施の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>新藤先生による指導の様子 披露後盛大な拍手を送るカナダ選手団</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・フランス語の発音が難しかったけれど、何度も練習する中で自然と良い発音をすることができるようになった。 ・セレモニー本番で、カナダ選手に指笛を吹いてもらうなど喜んでもらった。歌いきった達成感があった。 ・セレモニーでカナダ選手を間近で見ることができたり、迫力のある高校生のアトラクションを見ることができたりと、あの場でしか味わえない貴重な体験ができた。 ・セレモニー終了後、カナダ選手と写真撮影ができた。 ・良い思い出になったし、プロジェクトに参加して良かった。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダ国歌披露後の大歓声は生徒の大きな自信につながったと思う。自然と笑みがこぼれていた。 ・セレモニー後、写真撮影や記念品授与を通して、カナダ人選手と間近でコミュニケーションをとることができて、生徒は大変うれしそうだった。 ・写真撮影に依頼に行くなど、生徒からのアプローチも見られ、

	主体的に関わろうとする姿が見られた。
--	--------------------

<カナダ人コーチとのトレーニングセッション>

開催日時	令和7年9月9日 16時30分～17時00分(30分)
会場	長良川陸上競技場
参加者	陸上競技部員 希望者 27人
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・世界陸上カナダチームのコーチによるカナダチーム流ドリルの指導 ・練習後、サインをもらうなど、コーチや選手と交流 ・引き続き公開練習を見学
実施の様子	 <p>練習前の全体挨拶の様子</p> <p>コーチからサインをもらう様子</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちが行っているドリルと大きく動きが違っていた。今後の練習に取り入れていきたい。 ・30分があつという間だった。個別に指導してくれてうれしかった。 ・Tシャツにサインをもらった。大事にする。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上大好きな部員がカナダ人コーチに直接指導を受けることで、より競技への意欲が高まった。 ・間近で選手を見たり、公開練習を見学したりすることで、世界で活躍する陸上選手に対しての憧れをもつことができた。 ・練習後のサイン会は大変うれしそうだった。練習後、交流の機会を設けていただけたことに感謝している。 ・トレーニングセッション後の練習日には、世界陸上の話題が尽きなかった。世界陸上への関心は間違いなく高まったと思う。

<日本文化（茶道）紹介>

開催日時	令和7年9月13日 12時00分～13時00分（60分）
会場	都ホテル 岐阜長良川
参加者	茶道部員 希望者 10人
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・茶道部員による茶道文化の紹介 ・昼食会場に出入りするカナダ選手に茶道道具や、お茶の点て方を紹介（生徒は事前に紹介文を英語で用意） ・浴衣の紹介、写真撮影
実施の様子	 <p>茶道道具を紹介する茶道部員 浴衣に興味を示すカナダ選手</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・茶道の魅力を知ってもらうために英語の紹介文を用意した。リアクションが大きく、ちゃんと伝わったんだなと思った。 ・英語でコミュニケーションをとるのは緊張したけれど、笑顔で応えてくれて安心した。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技部、美術部に続いて、部活の特色を生かした交流ができた。 ・英語の教科担任にアドバイスをもらいながら紹介文を作成するなど、事前準備を充実させることができた。 ・カナダ選手への質問に対してできるだけ英語で返すなど、高度なコミュニケーションに挑戦する部員も多かった。

<カナダ応援風の作成>

開催日時	10月～12月 総合的な学習の時間
参加者	1年生六角凧・虻凧作成チーム 12名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダをテーマにした六角凧・虻凧をデザイン。 ・1月上旬、メディアコスモスで六角凧の展示。 ・2月1日の鏡島凧揚げ大会で実際に揚げ、地域の人にも

	カナダに関わる取組みを知ってもらう。
実施の様子	 <p>完成した六角凧・虹凧</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダが一目で分かるようなデザインにした。世界陸上が終わっても応援の気持ちを示すことが出来たと思う。 ・凧揚げ大会本番は、カナダの凧が一番高く揚がっていた。凧がない中でもうまく揚げることができて良かった。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアコスモスに展示することで、鏡島地域の人以外にも精華中のカナダプロジェクトの取組を知ってもらえた。 ・地域のイベントとカナダの交流事業をうまく関連付けることができた。事前合宿のブースで凧を紹介してもよかった。

<パラアスリートとの交流会>

開催日時	令和8年1月16日 13時55分～15時45分 (110分)
会場	体育館
参加者	1年生 200人
活動内容	<p>岐阜 SHINE 池戸義隆選手の講話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすバスケットボールを始めたきっかけ ・今後、生徒に大切にしてほしいこと など <p>パラ選手 那須智彦選手の講話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラアイスホッケーの紹介や魅力、生徒へのメッセージ <p>車いすバスケットボール体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いす乗車体験 ・車いすシュート体験 ・ミニゲーム
実施の様子	

	池戸選手の講話	車いす乗車体験	ミニゲーム
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・那須選手や岐阜 SHINE の選手が、私たちよりも体が不自由なのに、明るく生活していてすごいと思った。ネガティブにならずに自分がやりたいことをやる生き方に憧れをもった。 ・実際に車いすに乗って、タイヤを動かすだけでとても腕が疲れることを知った。車いすに乗っているとジャンプができず、高いところにも手が届かないなどいろいろ分かった。それでも選手もの皆さんは乗りこなしていて、ハンデ関係なしにいきいきとしていたのが印象的だった。 		
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすバスケットボールの存在を知らない生徒が多い中、体験を通して興味をもつことができたのが大きかった。 ・全員が3つの体験活動すべてを行うことができた。操作の難しさを実感することで、パラスポーツの奥深さを知ることができた。 		

岐阜県立岐阜商業高等学校 実績報告書

学校名	岐阜県立岐阜商業高等学校			
所在地	岐阜県岐阜市則武新屋敷1816-6			
学校規模	全校生徒数	1,068	クラス数	27
本事業への参加者	グローバルビジネス科1～3年119人、陸上部			
実施概要	月	概 要		
	7月	メッセージ動画撮影	カナダ選手に向けたメッセージ動画撮影	
	9月	カナダチーム歓迎式典	カナダ陸上チーム事前合宿における歓迎式典の司会及び取材	
	1月	事前学習	I'm Possible での学習	
	1月	パラスポーツ体験	車いすバスケットボール体験	
	1月	カナダを知る取組	カナダ出身者による英語講演会	

実施内容詳細

<カナダ選手に向けたメッセージ動画撮影>

開催日時	令和7年7月15日 16時00分～16時45分（45分）
会場	本校（野球部雨天練習場）
参加者	陸上部
ねらい・目的	カナダ陸上チームとのホストタウン交流
活動内容	・カナダ陸上チームへの応援動画メッセージ
実施内容	
生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダ陸上選手が岐阜県と関わりがあることを知り、応援したいと思った。 ・選手が岐阜に来た際には交流したい。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・応援動画を送ることで、カナダ選手を身近に感じ、今後の交流の意識付けとなった。 ・パラスポーツへの関心をもつきっかけとなった。

<カナダ陸上チーム歓迎式典の司会及び取材>

開催日時	令和7年9月7日 15時15分～16時00分 (45分)
会場	都ホテル岐阜長良川
参加者	3年 2人
ねらい・目的	フォーマルの場での英語活用之机会を設ける。 式典や取材を通してカナダ陸上チームとのつながりを知る。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・歓迎式典の司会 (英語・日本語) ・選手への取材
実施の様子	<div style="text-align: center;"> <p>2025(令和7)年9月7日 世界陸上特別号 中日新聞社</p> <h3>世界陸上 カナダ代表選手が抱負</h3>  <p>カナダ代表選手を取材する記者たち＝岐阜市で</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>9月に開かれる世界陸上東京大会に出場するカナダ代表のマイケル・ロス選手(23)は混合1600メートルリレーとマリール・エロイーズ・ルクレア選手(22)は女子1600メートルリレーがインタビューに応じ、大会への抱負を語った。</p> <p>★大会に向けてどのような練習をしましたか。</p> <p>ロス選手 世界陸上に向けて、400メートルを走る間、スピードがキープできるように努力してきました。私は混合1600メートルリレーに出場するので、バトンパスなど協力する動作をチームメイトと何度も練習しました。</p> <p>ルクレア選手 私は直線だけでなくカーブを走る練習も重点的に行いました。リレーでは第三走者となるため、クラウチングではなくスタンディング、立った状態からのスタートの練習をしました。(総合実悠夏)</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: right;"> <h2>中高生記者が取材</h2> <p>中日新聞 中日新聞社 岐阜県岐阜市二の丸一丁目6番1号 〒490-0017 電話 052-203-2011</p> <p>ホームページ http://www.chunichi.co.jp/</p> <p>ご購読申し込みは 電話 0120-45-4010</p> <p>発行 子ども記者 協力 岐阜県 カナダ陸連</p> </div> </div>
生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・式典という公式の場での司会をし、緊張したが自信につながった。 ・普段経験することができないインタビューができ、貴重な経験となった。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的に英語を使用する機会があり、英語学習へのモチベーションが上がった。

<事前学習（I' m possible を使った授業）>

開催日時	令和8年1月9日 13時15分～14時05分（50分）
会場	本校（2K教室）
参加者	2年 40人
ねらい・目的	パラリンピック・パラスポーツの理解
活動内容	I' m possible を使った授業 <ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックとは ・パラスポーツの理解
生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに熱心に取り組んだ。 ・パラスポーツのクイズに取り組みながら理解を深めた。 ・パラスポーツの意義についてよくわかった。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある人もない人も共生できる社会への理解が深まった。 ・車いすバスケットについて知り、交流に向けて準備することができた。

<車いすバスケットボール体験>

開催日時	令和8年1月26日 13時30分～15時00分（90分）
会場	岐阜県福祉友愛アリーナ
参加者	1年生39人 2年生40人
ねらい・目的	パラスポーツを通じた共生社会への理解
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜 SHINE の選手による講演 ・車いすバスケットボール体験
実施の様子	

	
生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすバスケットボールが実際に体験でき有意義だった。 ・選手の方が車いすバスケットを始める経緯がわかり心に響いた。 ・「今できることに一生懸命取り組む」や「人との出会いは成長につながる」などの熱い言葉に感動した。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に車いすに乗ることで、操作の難しさがわかり、貴重な体験となった。 ・選手の方の話聞き、障がいのある人もない人もスポーツを通して交流できる素晴らしさを伝えていただき、よりスポーツの奥深さを知った。 ・体験を通して、多様性や共生社会について考えるきっかけとなった。

<カナダ出身者による英語講演会>

開催日時	令和8年1月30日 13時15分～14時05分 (50分)
会場	本校 (メディアホール)
参加者	1～2年 79人
ねらい・目的	カナダ出身者の講演を聞き、異文化や国際情勢に関する興味・関心を高め、国際人としての在り方・考え方を学ぶ。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本校生徒の英語によるスピーチ <講演内容> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでのキャリアについて ・カナダと日本の文化の違い ・英語学習の大切さ
実施の様子	
生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・将来について自分の言葉で英語で伝えることができた。 ・カナダ出身の方の実際の話聞くことができ、英語で交流ができてよかった。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・オールイングリッシュの講話を聞くことができた。 ・文化の違いについて知ることができた。 ・海外から日本に来て活躍する方の話を聞き、海外の人と関わる職業を考えるきっかけとなった。 ・英語上達のためには恥ずかしがらず話すことが大切だとわかった。 ・英語学習の意識づけにもなった。